

ブレードテスト(Blade Test)規定

1. 目的

この規定は、全日本インラインスキー連盟(以下「連盟」という)定款第2章第5条に基づき、これを定める。ブレードテストは、連盟独自の技術検定である。

- (1)ブレードテストは、インラインスキーにおける連盟独自の技術検定である。
- (2)インラインスキーの基本技術における質的内容の高さを評価するものである。
- (3)インラインスキーにおける向上心と目的意識を持つことと、ルール・マナーの理解の促進を図る。

2. 検定要綱

Blade Master / Blade Pro / Blade 1 / Blade 2 / Blade 3の5種類とする。

(1)実施

ブレードテスト検定員、加盟団体及び支部が、日程及び場所を事前に決定し、連盟の承認を得て、受検希望者へ公示を行い、開催する。

(2)ブレードテスト検定員

会長から委嘱されたブレードテスト検定員の資格を持つインストラクターがそれぞれの検定を行う。

- イ. Top Instructor:すべての検定
- ロ. Advance Instructor:Blade Proまでの検定
- ハ. First Instructor:Blade1～3までの検定

(3)受検資格

Blade Masterを受検する場合は、Blade Proを取得した者及び受検前に事前講習会(有効年数1年)を受講した者。Blade Proを受検する場合は、Blade 1を取得した者及び受検前に事前講習会(有効年数1年)を受講した者。Blade 1以下の受検は特に定めない、とする。

(4)検定申込

受験者は、氏名、年齢、性別、住所、既得種類及び受検希望種類等を所定の申込み用紙に記入の上、受検料を添えて、検定を開催するブレードテスト検定員、加盟団体及び支部に申し込む。

(5)検定料

下記の検定料(すべて消費税込)を検定申込み時に納付しなければならない。

- イ. Blade Master: ¥3500
- ロ. Blade Pro: ¥2500
- ハ. Blade1～3まで一律: ¥1500

(6)合格者の手続

ブレードテストに合格した場合は、下記の認定料(すべて消費税込)を納付しなければ有効とならない。後日、連盟より「認定証」と「認定ステッカー」が郵送される。

- イ. Blade Master: ¥3000
- ロ. Blade Pro: ¥2000
- ハ. Blade1～3まで一律: ¥1500

(7)結果の報告

ブレードテストを実施したブレードテスト検定員、加盟団体及び支部は、その結果を所定の報告書に記入の上、3日以内に総務部及び事務局に報告する。ただし、期限内に連絡が出来ない場合は、事前にその旨を連絡する。

(8)認定料の納付

ブレードテストを実施したブレードテスト検定員、加盟団体及び支部は、合格者の認定料を1週間以内に納付しなければならない。ただし、期限内に納付が出来ない場合は、事前にその旨を連絡する。

(9)その他

ブレードテストを実施したブレードテスト検定員、加盟団体及び支部は、その検定に於いて発生した「検定料」は連盟に納付する義務はないものとする。

3. 事前講習会

Blade Master及びBlade Proを受検する者は、講習会講師、加盟団体及び支部が開催する「事前講習会(1日)」を受講しなければならない。但し、Blade 1以下は任意とする。

(1)実施

講習会講師、加盟団体及び支部が、日程及び場所を事前に決定し、連盟の承認を得て、受講希望者へ公示を行い、開催する。期日は、1日とする。

(2)事前講習会

会長から委嘱された講習会講師の資格を持つインストラクターがそれぞれの事前講習会を行う。

- イ. Top Instructor: Blade Master及びBlade Proの事前講習会
- ロ. Advance Instructor: Blade Proの事前講習会
- (3) 受講資格
 - イ. Blade Master事前講習会: Blade Proを取得している者
 - ロ. Blade Pro事前講習会: Blade 1を取得している者
- (4) 受講申込

受講希望者は、氏名、年齢、性別、住所、既得種類及び受講希望種類等を所定の申込み用紙に記入の上、受講料を添えて、事前講習会を開催する講習会講師、加盟団体及び支部に申し込む。
- (5) 事前講習料

下記の受講料(すべて消費税込)を受講申込み時に納付しなければならない。

 - イ. Blade Master: ¥5000
 - ロ. Blade Pro: ¥5000
- (6) 事前講習有効年数

受講の日から、1年間有効とする。
- (7) 結果の報告

事前講習会を実施した講習会講師、加盟団体及び支部は、その結果を所定の報告書に記入の上、3日以内に総務部及び事務局に報告する。ただし、期限内に連絡が出来ない場合は、事前にその旨を連絡する。
- (8) 事前講習料の納付

事前講習会を実施した講習会講師、加盟団体及び支部は、事前講習料の¥5000の内¥2000を連盟に1週間以内に納付しなければならない。期限内に納付が出来ない場合は、事前にその旨を連絡する。

4. ブレードテスト実施要綱

- (1) 実施の条件

すべての種類の斜面条件は、下記の通りとする。

 - イ. 安全に滑走することができる長さや幅を設定する。約長さ100m×幅15mくらいが望ましい。
 - ロ. 安全に滑走できる傾斜を設定する。0～7%くらいが望ましい。
 - ハ. 安全に停止することができる場所を設定する。停止場所が平坦であることが望ましい。
 - ニ. がたつきの少ない、危険のない路面を設定する。
- (2) 実施
 - イ. 検定は、申込みの種類に対してのみ行う。
 - ロ. 2名の検定員が採点にあたる。
 - ハ. 種目の得点は、2名の検定員の平均点とする。
 - ニ. 各種目の検定実施に際しては、1名以上の適任と思われる前走者を用意し、種目ごとに前走を行うものとする。
 - ホ. 検定種目の順序は、検定員が決定し、検定前に受検者へ明示しなければならない。
 - ヘ. 滑走順は、検定員が決定し、検定前に受検者へ明示しなければならない。

(3) ブレードテスト種類と種目

種目／種類	Blade Master	Blade Pro	Blade 1	Blade 2	Blade 3
合格点	360点/4種目	255点/3種目	240点/3種目	225点/3種目	140点/2種目
パイロンスラローム	●				●
グライドターン					●
パラレルターン大回り	●	●	●	●	
パラレルターン小回り	●	●	●	●	
フリー滑降	●	●	●	●	

- (4) 採点方法

すべての種類において、滑走は、各種目各1回とする。

 - イ. Blade Masterは、4種目をそれぞれ100点満点とし、合計点が360点以上を合格とする。
 - ロ. Blade Proは、3種目をそれぞれ100点満点とし、合計点が255点以上を合格とする。
 - ハ. Blade 1は、3種目をそれぞれ100点満点とし、合格点が240点以上を合格とする。
 - ニ. Blade 2は、3種目をそれぞれ100点満点とし、合計点が225点以上を合格とする。
 - ホ. Blade 3は、2種目をそれぞれ100点満点とし、合計点が140点以上を合格とする。

5. 採点基準

Blade 3の種目及び採点基準 <2種目>

- (1)パイロンスラローム<助走約5m・2m間隔×10個のパイロンを直線で設置>
 - イ. パイロンで規制されたコースを通過
- (2)グライドターン<平地4~6回転>
 - イ. 平地での連続ターンが出来る。

Blade 2の種目及び採点基準 <3種目>

- (1)パラレルターン大回り<4~6回転>
 - イ. 斜面にあわせたターン弧、スピードの調整。
 - ロ. 外脚によるグライディング操作。
 - ハ. 両スケートによるバランス保持。
- (2)パラレルターン小回り
 - イ. 斜面にあわせたターン弧、スピードの調整。
 - ロ. 外脚によるグライディング操作。
 - ハ. 両スケートによるバランス保持。
- (3)フリー滑降
 - イ. 斜面にあった大、中、小の2種目以上の使い分け。
 - ロ. 外脚によるグライディング操作。
 - ハ. 両スケートによるバランス保持。

Blade 1の種目及び採点基準 <3種目>

- (1)パラレルターン大回り
 - イ. 両脚によるグライディング操作。
 - ロ. 状況、条件に対応した運動構成。
- (2)パラレルターン小回り
 - イ. 両脚によるグライディング操作。
 - ロ. 状況、条件に対応した運動構成。
- (3)フリー滑降
 - イ. 両脚によるグライディング操作。
 - ロ. 状況、条件に対応した運動構成。

Blade Proの種目及び採点基準 <3種目>

- (1)パラレルターン大回り<4~6回転>
 - イ. 両脚による積極的なグライディング操作。
 - ロ. 滑らかな連続運動。
 - ハ. スピードへの挑戦。
- (2)パラレルターン小回り
 - イ. 両脚による積極的なグライディング操作。
 - ロ. 滑らかな連続運動。
 - ハ. スピードへの挑戦。
- (3)フリー滑降
 - イ. 両脚による積極的なグライディング操作。
 - ロ. 滑らかな連続運動。
 - ハ. スピードへの挑戦。

Blade Masterの種目及び採点基準 <4種目>

- (1)パラレルターン大回り<4~6回転>
 - イ. 両脚による積極的なグライディング操作。
 - ロ. 滑らかな連続運動。
 - ハ. スピードへの挑戦。
- (2)パラレルターン小回り
 - イ. 両脚による積極的なグライディング操作。
 - ロ. 滑らかな連続運動。
 - ハ. スピードへの挑戦。
- (3)フリー滑降
 - イ. 両脚による積極的なグライディング操作。

- ロ. 滑らかな連続運動。
 - ハ. スピードへの挑戦。
- (4)パイロンスラローム<助走約5m・1.5m間隔×10個のパイロンを直線で設置>
- イ. 両脚によるグライディングターン。
 - ロ. リズミカルな運動の中でのバランス保持。